

神戸市従業員労働組合港湾支部との交渉議事録

1. 日 時：令和7年10月16日（木） 18:10～18:30

2. 場 所：港湾局5-A会議室（ポートアイランドビル 5階）

3. 出席者：

（市）港湾局経営企画課課長、経営企画課係長、他1名

（組合）市従港湾支部支部長、書記長、書記次長、特別執行委員1名

4. 議 題：要求書に関する回答交渉

5. 発言内容：

（市）皆さま方におかれましては、日ごろから、港湾局の事業の推進にあたり、ご理解・ご協力いただいておりますとともに、現場の第一線でご活躍いただいていることに対しまして、改めてお礼申し上げます。

現在本市を取り巻く状況は、人口減少、少子・超高齢化の進展などにより、引き続き厳しい状況にあります。また、本市の財政状況については、物価高騰への対策、公共施設の光熱費や公共事業の事業費の増加など、追加の財政需要が生じており、一層厳しくなることが見込まれております。市民の暮らしの安心・安全を守りながら、財政の健全性を保つため、港湾局としてもより一層の行財政改革に取り組んでいく必要がございますので、引き続き、皆さま方のご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

本日は、6月19日にいただきました要求書につきまして、勤務労働条件に関する部分について回答させていただきます。よろしくお願ひいたします。

まず、事前協議制及び労使妥結事項の遵守、文書回答、文書協約につきまして、勤務労働条件について労使で合意した内容につきましては、これまでも一方的に変更したことではなく、今後もその姿勢に変わりはございません。健全な労使関係を構築する中で労使の信頼関係は保っていきたいと考えており、誤解を生じないよう今後とも努力してまいりたいと考えております。

次に、欠員につきましては、その実態を把握したうえで、過重な勤務実態が生じている場合は、労働安全衛生の観点から、様々な方法を考えながら、対応してまいりたいと考えております。

次に、段階的な定年年齢の引き上げにつきましては、所属からのヒアリング等を通じ職場環境を把握した上で、加齢に伴う身体能力の低下が職務遂行に影響を与える場合には、職場環境や業務分担の見直しなどの対応を検討してまいりたいと考えております。

す。

次に、安全衛生につきましては、職員が安心して働くことのできる職場づくりは最も基本的かつ重要なことであり、繰り返し、周知徹底を図ることが大切と考えております。特に港湾エリアの現業職場は危険と隣り合わせであり、より一層の労働安全衛生の充実が不可欠であると認識しております。

そのため、安全衛生委員会や安全パトロールを通して、日常の業務で見落としがちな作業や機材等の危険性など、現場作業における実態について把握を行っております。さらに、近年の記録的な高温における熱中症対策につきましては、屋外での業務が多い所属においてファン付被服を導入しているほか、警報リストウォッチや暑さ指数を計測できる温度計の導入、経口補水液の常備など、さらなる対策を講じているところです。あわせて、公務の運営のためやむを得ず熱中症リスクのある環境において、業務に従事する必要があるものについては、今年度より夏季作業手当を支給し、業務の危険性を評価した手当も創設したところでございます。

今後とも、現場作業における危険性やリスクマネジメントにつきましては、各安全衛生委員会（部会）において安全・安心して働く職場環境について話し合っていただき、状況に応じて注意喚起を行うことで、職員の安全意識の向上に努めてまいります。

なお、今年度の公務災害の状況につきましては、本日時点では発生しておりません。下半期も公務災害ゼロを目指し、引き続き安全衛生対策に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、男女が働きやすい職場環境につきましては、これまで局として日頃から職場の状況を把握し対応に努めてきたところですが、今後も職員が安心して働くことができるような職場環境づくりに努めてまいりたいと考えております。（要求番号7）

回答は以上になりますが、これまでどおり、局・支部の信頼関係を大事にしてまいりたいと考えており、勤務労働条件に関わる事につきましては、引き続き皆様方と協議してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

（組合）ご回答ありがとうございました。

安全衛生については、特に今夏は熱中症対策として、リストウォッチ、経口補水液など用意していただき、有効な対策だと感じています。引き続きよろしくお願いします。

夏季作業手当についても、今年度から新たに導入されましたが、今の所、運用面で問題ないと聞いています。来年度に向けても適正かつ円滑な制度運用ができるようお願いします。

安全パトロールも先日実施していただきました。日ごろの作業による公務災害のリ

スクを検証していただいたほか、個々人の体調について所属内でお互いがチェックできる体制を取れるよう、日ごろのコミュニケーションも含めて、引き続き取り組んでいただきたいと思います。

公務災害についても本年度はゼロということで、引き続き発生しないようよろしくお願いいたします。

最後に、段階的な定年年齢の引き上げに伴い、加齢に伴う身体能力の低下が職務遂行に影響を与える場合には、業務配慮として、職場環境や業務分担の見直しなどの対応を考えておられるとのことですが、具体的にはどのような対応を考えておられますか。

(市) 一例としては、防災指令時の待機について、身体的負荷を考慮して実施するよう各職場で取り組んでいます。職場全体の業務分担につきましては、今後も適切になるよう取り組んでいきたいと考えております。

(組合) 引き続きよろしくお願いします。今後も、将来に向けた職場のあり方を考えていきたいと思います。残った課題は継続協議といたしまして、2025 年の現業闘争の回答を了とします。

以上